

平成 26 年度
教育委員会の点検・評価報告書
(平成 25 年度事業対象)

平成 26 年 8 月
葉山町教育委員会

目次

1	はじめに	2
2	趣旨	2
3	教育委員会活動内容について	
(1)	教育委員会会議の開催状況	3
(2)	教育委員会会議での審議状況	3
(3)	教育委員会会議以外の活動状況	3
4	教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況	
(1)	基本理念Ⅰ 自立した人間をめざして	15
(2)	基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして	21
(3)	基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って 行動できる人間をめざして	25
(4)	基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして	27
5	学識経験者による意見	29

1 はじめに

～海とみどりにひろがる交流 文化のまち 葉山～

この町に住む一人ひとりが人間的に豊かで幸福に生きていくためには、一人ひとりの「生涯にわたって学習し続ける意欲」とそれに応える行政の「学習・教育環境の充実」が必要不可欠の両輪であると葉山町教育委員会では考えています。そこで、町教育委員会では、学習することの意義や学ぶ姿勢について、一人ひとりがいつも意識できること、学習意欲の形成に資することができることを教育行政の中心として教育委員会の活動を行っています。

2 趣旨

葉山町教育委員会では、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の趣旨にのっとり、平成 25 年度を対象として教育委員会の活動内容をとりまとめるとともに、葉山町教育総合プランの重点目標に対する主な施策の点検と自己評価を行い、「教育委員会の点検・評価報告書」（以下「報告書」という。）を作成します。

また、この報告書は、教育に関する学識経験を有する方からご意見を頂戴し、議会に提出するとともに、あわせて公表します。

参考 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第二十七条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第三項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

3 教育委員会の活動内容について

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議については、原則として毎月1回「教育委員会定例会」を開催しています。

平成25年度中は、定例会を12回、また、臨時会を1回開催しました。さらに、教育委員会の会議のほかに、随時、研修会等を実施しています。

- ・教育委員会定例会・・・12回
- ・教育委員会臨時会・・・1回（3月）

(2) 教育委員会会議での審議状況・・・資料1

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第2条の規定に基づき、平成25年度は、合計21件の議案について審議を行いました。

(3) 教育委員会会議以外の活動状況・・・資料2

教育委員は、教育委員会会議への出席以外に、町議会、学校視察、各種行事等について、平成25年度は、合計で126回の出席及び参加をしました。

【概要】

① 議会関係・・・・・・・・・・ 5回

② 校長会・教頭会への参加・・・17回

③ 各種行事・大会・・・・・・・・ 56回

辞令交付式、陸上競技講座、海水浴場開き、成人式、かながわ駅
伝他

④ 学校視察・運動会等・・・・・・・・ 12回

⑤ その他会議等・・・・・・・・・・ 36回

神奈川県町村教育長会総会

神奈川県市町村教育委員会連合会総会・研修会

湘三管内教育長会議他

資料1

平成 25 年度 教育委員会審議案件等一覧

【平成 25 年度 教育委員会会議 審議一覧】

議案番号	件 名	提出日
1	葉山町社会教育委員及び公民館運営審議会委員の委嘱について	4月17日
2	教育施設の工事計画（案）について	4月17日
3	教育財産の取得（案）について	4月17日
4	平成 25 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 3 号））（案）について	5月15日
5	葉山町文化財保護委員会委員の委嘱について	6月19日
6	平成 26 年度使用小学校教科用図書の採択について	7月17日
7	平成 26 年度使用中学校教科用図書の採択について	7月17日
8	平成 25 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 5 号））（案）について	8月21日
9	平成 25 年度教育委員会の点検・評価報告書（平成 24 年度対象）について	8月21日
10	葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について	10月16日
11	葉山町教育委員会委員長の選挙について	11月20日
12	葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について	11月20日
13	町議会定例会提出議案（平成 25 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 8 号））に同意することについて [報告]	12月18日
14	平成 25 年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第 9 号））（案）について	1月29日
15	平成 26 年度教育予算（案）について	1月29日
16	葉山町スポーツ推進委員の委嘱について	2月26日
17	葉山小学校及び一色小学校の通学区域の一部変更について	2月26日
18	平成 26 年度使用中学校教科用図書（一般図書（拡大教科書））の変更採択について	2月26日
19	葉山町青少年指導員の委嘱について	3月19日
20	葉山町公立学校教職員の人事異動について	3月19日
21	葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について	3月26日

教育委員会会議での審議状況

■ 4月定例会

《議案第1号》葉山町社会教育委員及び公民館運営審議会委員委嘱について

(趣旨) 任期満了に伴う葉山町社会教育委員の委嘱をする。あわせて公民館運営審議会委員の委嘱をする。

○原案通り承認

《議案第2号》教育施設の工事計画(案)について

名 称	予算額
葉山小学校給食室受水槽改修工事	2,227,000 円
長柄小学校排気ダクト改修工事	1,262,000 円
一色小学校給食室受水槽改修工事	4,204,000 円
一色小学校新館耐震改修工事	34,521,000 円
各小学校給食室トイレ改修工事	1,112,000 円

(趣旨) 規則により、予定価格 100 万円以上の工事について計画内容を審議する。

○原案通り承認

《議案第3号》教育財産の取得(案)について

名 称	予算額
葉山小学校大型生ゴミ処理機	3,483,000 円

(趣旨) 規則により、予定価格 100 万円以上の教育財産の取得について計画内容を審議する。

○原案通り承認

《報告第1号》教育長の事務代理に係る報告について(教育財産の取得)

名 称	予算額
長柄小学校食器消毒保管機	1,071,000 円

■ 5月定例会

《議案第4号》平成25年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第3号））（案）
について

歳入

名 称	補正予算額	説 明
かながわ学びづくり推進地域 研究事業委託金	580,000 円	かながわ学びづくり推進地域 研究事業

歳出

事 業 名	補正予算額	説 明
学校経営・研究推進事業	580,000 円	かながわ学びづくり推進地域 研究事業

（趣旨）町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の
申し出を行う。

○原案通り承認

■ 6月定例会

《議案第5号》葉山町文化財保護委員会委員の委嘱について

（趣旨）任期満了に伴う葉山町文化財保護委員の委嘱をする。

○原案通り承認

■ 7月定例会

《議案第6号》平成26年度使用小学校教科用図書の採択について

（趣旨）義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき使用教科用図書の採択をする。

○現在使用している教科書を引き続き採択することです承

《議案第7号》平成26年度使用中学校教科用図書の採択について

（趣旨）義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律に基づき使用教科用図書の採択をする。

○現在使用している教科書を引き続き採択することです承

■ 8月定例会

《議案第8号》平成25年度葉山町教育予算（一般会計補正予算（第5号））（案）
について

歳入

名 称	補正予算額	説 明
小学校費補助金	990,000 円	理科教育設備整備備品費
中学校費補助金	496,000 円	理科教育設備整備備品費

歳出

事 業 名	補正予算額	説 明
給食施設運営事業	-4,203,000 円	一色小学校給食室受水槽改修 工事の中止
小学校教育振興運営事業	1,980,000 円	理科教育設備整備備品費
中学校教育振興運営事業	992,000 円	理科教育設備整備備品費

（趣旨）町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の
申し出を行う。

○原案通り承認

《議案第9号》平成25年度教育委員会の点検・評価報告書（平成24年度対象）
について

（趣旨）規則により教育委員会の点検・評価報告書の審議をする。

○原案通り承認

■ 9月定例会

- 1 神奈川県市町村教育委員会連合会第2回役員会の報告について
- 2 「葉山町青少年創意くふう展」について

■10月定例会

《議案第10号》葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について
(趣旨) 規則により人事案件を審議する。

○原案通り承認

■11月定例会

《議案第11号》葉山町教育委員会委員長の選挙について
(趣旨) 平成25年11月30日をもって任期満了する教育委員長の選任。

○委員長 鈴木伸久委員

なお、委員長職務代理者は、山崎勝美委員が指定された。

《議案第12号》葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について
(趣旨) 規則により人事案件を審議する。

○原案通り承認

■12月定例会

《議案第13号》《報告第2号》

町議会定例会提出議案(平成25年度葉山町教育予算(一般会計補正予算
(第8号))に同意することについて

歳出

事業名	補正予算額	説明
中学校管理事業	1,257,000円	葉山中学校非常用放送設備改修工事

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の
申し出を行う。

○原案通り承認

■1月定例会

《議案第14号》平成25年度葉山町教育予算(一般会計補正予算(第9号))(案)

について

歳入

名 称	補正予算額	説 明
幼稚園就園奨励費返納金	1,633,000 円	平成 24 年度私立幼稚園就園奨励費補助金の過払いに伴う返納金

歳出

事 業 名	補正予算額	説 明
幼稚園就園奨励事業	389,000 円	平成 24 年度私立幼稚園就園奨励費補助金の過払いに伴う国庫補助返納金
教育センター維持管理事業	408,000 円	電気代・水道代不足分
図書館運営費	287,000 円	電気代不足分
葉山しおさい公園管理事業	369,000 円	電気代不足分

(趣旨) 町議会において、上記補正予算に係る議決を経ることについて意見の申し出を行う。

○原案通り承認

《議案第 15 号》平成 26 年度葉山町教育予算 (案) について

(趣旨) 町議会において、平成 25 年度予算に係る議決を経ることについて、意見の申し出を行う。

○原案通り承認

■ 2 月定例会

《議案第 16 号》葉山町スポーツ推進委員の委嘱について

(趣旨) 任期満了に伴う葉山町スポーツ推進委員の委嘱をする。

○原案通り承認

《議案第 17 号》葉山小学校及び一色小学校の通学区域の一部変更について

(趣旨) 葉山小学校及び一色小学校の通学区域を現状に合わせたものとするため、一部変更を行う。

○原案通り承認

《議案第 18 号》平成 26 年度使用中学校教科用図書（一般図書（拡大教科書））
の変更採択について

（趣旨）中学校教科用図書のうち、一般図書（拡大教科書）を変更採択する。

○原案通り承認

■ 3 月定例会

《議案第 19 号》葉山町青少年指導員の委嘱について

（趣旨）任期満了に伴う葉山町青少年指導員の委嘱をする。

○原案通り承認

《議案第 20 号》葉山町公立学校教職員の人事異動について

（趣旨）規則により人事案件を審議する。

○原案通り承認

■ 第 1 回臨時会

《議案第 21 号》葉山町教育委員会事務局職員の人事異動について

（趣旨）規則により人事案件を審議する。

○原案通り承認

資料 2

教育委員会会議以外の活動状況

	各種行事・大会	そ の 他
4 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 辞令交付式 ・ 陸上競技講座 ・ 体育協会総会 ・ 春の交通安全運動キャンペーン ・ しおさい公園無料開放 ・ しおさい博物館企画展「葉山にゆかりの画家たちⅠ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会 ・ 教頭会 ・ 県市町村教育委員会連合会総会 ・ 初任者研修会
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 陸上競技講座 ・ 社会教育委員委嘱式 ・ 海山に育ち親しむ子どもたち ・ スポーツオープンデー ・ しおさい博物館企画展「葉山にゆかりの画家たちⅡ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町臨時議会 ・ 租税教育推進協議会 ・ 校長会 ・ 湘三管内教育長会議 ・ 県町村教育長会春の総会並びに春季研究会 ・ 関東甲信越静岡市町村教育委員会連合会総会及び研修会 ・ 葉山地区PTA連絡協議会総会
6 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 葉山町民マラソン ・ 運動会（上山口小学校） ・ 運動会（長柄小学校） ・ 体育祭（南郷中学校） ・ 葉山自然観察隊 ・ バスケットボール講座 ・ しおさい博物館企画展「石で辿る葉山のおいたち」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町議会 ・ 校長会 ・ 障害児就学支援委員会 ・ 青少年問題協議会 ・ 県・市町村教育委員会教育長会議
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 海水浴場開き ・ 社会を明るくする運動 ・ 草津町親善水泳教室 ・ 海の学校（波乗り体験） ・ しおさい博物館企画展「身近なミニカートミカの世界展Ⅱ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 校長会 ・ 教頭会 ・ 文化財保護委員会 ・ 葉山町PTA研修会 ・ 葉山被害者支援ネットワーク総会

	各種行事・大会	そ の 他
8 月	<ul style="list-style-type: none"> ・海の学校（ヨット体験講座） ・学校プール開放 ・ジュニアキャンプ 	<ul style="list-style-type: none"> ・県市町村教育委員会連合会役員会 ・湘三管内教育長会議 ・三浦半島地区教育長協議会総会及び視察 ・葉山町子ども議会
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・総合防災訓練 ・体育祭（葉山中学校） ・葉山町青少年創意くふう展 ・秋の全国交通安全運動街頭キャンペーン ・スポーツオープンデー ・しおさい博物館企画展「地図から読み解くちょっと昔の葉山町」、「葉山にゆかりの画家たちⅢ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会 ・教頭会 ・青少年問題協議会
10 月	<ul style="list-style-type: none"> ・運動会（一色小学校） ・運動会（葉山小学校） ・学校視察（長柄小学校） ・逗葉地区青少年音楽祭 ・南郷中学校吹奏楽演奏会 ・さわやか体験学習 ・しおさい博物館企画展「葉山にゆかりの画家たちⅣ」 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・葉山中初任者研修会 ・南郷中初任者研修会 ・神奈川県町村教育長会秋の総会並びに秋季研究会
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・学校視察（葉山中学校） ・戦没者慰霊祭 ・町民剣道大会 ・しおさい公園無料開放 ・葉山町文化祭 ・しおさい博物館企画展「ウミウシ研究史」 ・総合防災訓練 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・県市町村教育委員会連合会研修会 ・葉山小初任者研修会 ・一色小初任者研修会 ・障害児就学支援委員会 ・県公立小学校横須賀地区小学校管理運営研究会

	各種行事・大会	その他
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・人権を考える集い ・年末の交通事故防止運動街頭キャンペーン ・学校視察（葉山小学校） 	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・上山口小初任者研修会 ・校長会 ・文化財保護委員会
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・出初式 ・成人式 ・町小中学校作品展 ・葉山町民駅伝 ・三浦半島駅伝 ・学校視察（上山口小学校） ・学校視察（一色小学校） ・学校視察（南郷中学校） ・町民スキー学校 ・しおさい博物館企画展「第1回葉山一色海岸アート展」、「一色海岸の今と昔海辺の風景のクロニクル（編年史）」 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・教頭会 ・湘三管内校長研究会 ・障害児就学支援委員会 ・県町村教育長会研究会 ・葉山小初任者研修会 ・長柄小初任者研修会
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・防災会議 ・葉山町民大学 	<ul style="list-style-type: none"> ・町議会 ・校長会 ・教頭会 ・県・市町村教育委員会教育長会議
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校卒業式 ・中学校卒業式 ・辞令伝達式、辞令交付式 ・ジュニアリーダー養成講座修了式 ・スポーツ指導員会議 ・公民館教室「ジュニアハンドベル」ロビーコンサート ・長柄桜山古墳群見学会 	<ul style="list-style-type: none"> ・校長会 ・教頭会 ・青少年問題協議会 ・文化財保護委員会

4 教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況

学習は、個人が自発的意思に基づいてより良く生きるためになされるものです。それにより一人ひとりの身体的・知的・情緒的・社会的行動が進歩し、調和のとれた人格が形成されます。また、教育は、一定の社会において個人に他から働きかけ、社会生活に必要な能力や資質を発達させる営みです。つまり「学習は自分づくり、教育は人づくり」といえます。

そこで、普遍的なこと、及び、現在の社会背景から生じている課題やこれから特に求められているであろうことを考慮しながら、学びを通してめざす人間像についての基本的な考え方を『基本理念』としました。そして、それを実現するために重点的に取り組むべき教育のあり方を『教育の重点』とし、今後の教育施策の基本方針としています。

この報告書においては、これら教育総合プランの4つの基本理念ごとに点検・評価を行い、主な活動状況、教育委員会での評価についてまとめました。

(1) 基本理念 I 自立した人間をめざして

重点：●家庭教育を充実しよう	●特別支援教育を大切にしよう
●幼児教育を充実しよう	●健康生活を推進しよう
●学校教育を充実しよう	●学びの場を充実しよう

【平成 25 年度の重点取組】

＜教育総務課＞

① 耐震整備事業

平成 25 年度の耐震整備事業としては、一色小学校新館の耐震補強工事を実施しました。また、上山口小学校旧校舎についても、方向性を決定していきます。

なお、児童・生徒が使用している学校施設は、耐震化率が 95.8%となっています。

＜学校教育課＞

② 町費教員の配置

各小中学校 1 人、計 6 人を配置したことに加え、中 1 ギャップの未然防止や解消及び教育課程における小・中学校の連携の推進を目的とした町費教員を 2 人配置し、指導体制の充実化を図りました。

(合計人数：8 人、主な教科：算数・数学、英語、理科等)

* 町費教員

安定した情緒のもとで確かな学力の向上を図るため、町費で任用する教員。専門的な教科の学習指導や、少人数指導・ティーム・ティーチング (TT) など、学習の目的や習熟の程度に応じた指導を実施している。

* 中 1 ギャップ

中学校への進学にあたり、学校生活や友人関係の急変、心身の急激な発達により、様々な面で不安定になること。文部科学省の調査では、不登校、暴力、いじめが、小学生に比べ中学 1 年生から急激に増えている。

③ 教育相談体制

教育相談体制を充実するため、各小中学校にスクールカウンセラー、心の教室相談員 (中学校のみ) を配置するとともに、教育研究所に教育相談員を配置しました。

相談件数（件）

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
教育研究所	1,011	971	1,087
スクールカウンセラー	375	435	467
心の教室	860	1,237	1,027

不登校（人）・いじめ（件）

	平成 23 年度		平成 24 年度		平成 25 年度	
不登校	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
	3	16	9	12	9	10
いじめ	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
	5	2	14	12	6	10

④ 特別支援教育

各小・中学校においては自立に向けて、特別な配慮を必要とする児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育の充実を図るため、校内の支援体制の整備や、適正な障がい児就学プロセスの保持、教職員の研修等を進めてきました。

また、葉山町発達支援システムにより、教育と福祉の連携が密になり、合同で開催する個別ケース会議や連絡会等の取り組みが、学校におけるより適切な指導や支援に生かされています。

* 葉山町発達支援システム

発達障がい児者及び特別な支援を必要とする児者の早期発見、早期の発達支援を図るとともに、保健・福祉・医療・教育等が連携して一貫した相談・支援を行うためのシステム。平成 22 年 4 月制定。

⑤ 人権教育

児童・生徒がそれぞれの発達の段階に応じて、人権に関する基本的な理解を深め、人権尊重の意識を高めることにより、人権の大切さを共感的に受け止める人権感覚を育む教育をすべての教育活動を通じて行うとともに、児童・生徒の人権に十分に配慮し、一人ひとりを大切にする教育を推進しています。そのために、人権教育担当者会を開催し、各学校の取り組みについて

情報の共有化を図りました。また、葉山中学校・長柄小学校の教職員及び各学校の人権教育担当者を対象に2回の人権教育研修会を実施しました。

⑥ 防災教育

葉山町学校防災計画を改定し、これを基に各学校が学校防災マニュアルの更なる見直しを行いました。地震・火災を想定した訓練、予告なし訓練、引渡し訓練などを想定し、年4～5回程度実施しています。更に葉山小、一色小では津波を想定した高台等への避難訓練を実施するなど防災教育・避難訓練も実施しています。

<生涯学習課・しおさい博物館>

⑦ 「葉山町民大学」の開催(全5回)

生涯学習の一層の充実を目指し、町民の高度な学習要求に応えるために、関東学院大学と提携し、学習機会の充実を図りました。

対象 : 町内在住・在勤者 参加者 : 73人

テーマ : 「日本の国際交流と互惠性」

主な講座内容

「古代日本における大陸文化の導入―渡来人と留学生―」

「ことばに宿る魔力―日欧今むかし―」

⑧ しおさい公園・博物館の充実

来園・来館される方々により親しまれ、喜んでいただける施設づくりを目指し、入場者約2万2千人を達成しました。

※ 主な内容

所蔵美術展等各種展示会の開催

ホームページ「しおさい公園だより」の充実

フェイスブックの開設

⑨ しおさい博物館展示解説及び学習支援

町内小中学校児童・生徒を対象に、展示解説・自由研究の相談を行いました。

(参加者 : 380人)

⑩ しおさい博物館学芸員実習

学芸員資格取得に必要な博物館実習を行いました。

(参加者 : 1人)

- ⑪ 神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館との合同見学会
しおさい博物館・神奈川県立近代美術館葉山館・山口蓬春記念館の3館合同で見学会を行いました。
(全2回開催、参加者：59人)

<図書館>

- ⑫ ブックスタート
子ども育成課の実施する乳児（4か月児）健康診査時に保健センターで乳児と保護者に絵本の読み聞かせや図書館の紹介をして、本と親しむ環境づくりを通して、親子のふれあいを深める取り組みを行いました。（毎月第1木曜日、参加者：219組）
- ⑬ おはなし会
おはなしコーナーで絵本の読み聞かせや紙芝居、手遊び等を行い、幼少時から読書に興味を持ってもらえるよう「おはなし会」を行いました。（毎週水曜日、参加者 751人）
- ⑭ 社会見学・職場体験学習
見学のしおりを作成して小学校3年生の社会見学で施設の紹介をしました。
（一色小学校3年生3クラス 81人、葉山小学校3年生3クラス 120人）
中学校2年生の職場体験学習を受け入れ、日常業務の実習をしました。
- ⑮ 絵本のパンフレット作成
春・夏・秋・冬の季節ごとの図書館おすすめ絵本について、小さなパンフレットを作成し紹介しました。

【評価】

- 耐震整備事業につきましては、平成25年度に、一色小学校新館耐震補強工事が完了し、耐震化率としては、全体で95.8%となっています。また、上山口小学校旧校舎は、方向性を定めることとします。
- 教育環境の充実のため、学校の各種設備については、安全安心を第一に点検、整備を実施していく必要があります。
- 学校教育の充実については、町費教員が、安定した情緒のもとでの確かな学力の向上を図るとともに、その専門性を生かして自由研究の指導を積極的

に進めた結果、例えば県青少年科学作文コンクールで2年連続入賞したり、また、国の SPP（サイエンス・パートナーシップ・プロジェクト）の助成を受け、大学と連携してロボットを使った教育を実践するなど、児童・生徒の思考力、判断力、表現力の育成に努めました。また、中1ギャップの未然防止や解消、教育課程における小・中学校の連携を推進するため、前年度後期は小学校に勤務し、翌年度前期は6年生が進学した中学校に勤務するという形態の町費教員配置を行うとともに、小学校と中学校の授業の接続に関する研究を進め、互いの授業スタイルを知り、進学前後の時期には、授業にそのスタイルを取り入れることが有効であることがわかるなどの研究成果がありました。

今後も、学校教育をより一層充実させ、小学校と中学校の教育課程における連携を進めるために、研究の成果を広く周知したり、人員や時間数を増やすなど、更なる取り組みと条件整備に努める必要があります。

- 近年の様々な相談に対応するため、スクールカウンセラーや心の教室相談員、教育研究所相談員による、きめ細かな教育相談体制を維持しています。これにより、中学校における不登校生徒が減少するなど、成果が見られます。いじめについては、いつでもどこでも起こりうるという認識に立ち、早期発見、早期対応がいじめ解消の鍵となることから、程度の大小にかかわらず、どんな小さいいじめも見逃さないよう学校を指導しているところです。

今後も子どもの心の安全・安心のため、教職員と一体となり、教育相談体制を維持・推進していくことが望まれます。

- 特別支援教育については、葉山町発達支援システムによる教育と福祉の連携のもと、相談支援ファイルを改訂し、支援のツールとして周知するとともに、教育と福祉が連携し、日々の情報交換のほか、ケース会議及び連絡会を開くなど、より児童生徒一人ひとりのニーズに対応した支援を進めています。各小・中学校には介助員を派遣し、きめ細かな教育支援を行いました。今後は、教職員の研修等を通じて指導計画の実効性を高めていくことと、適正な障がい児就学プロセスの保持が、重要だと思われれます。また、相談支援ファイル活用について、学校と協議を進めていく必要があります。

- 人権教育担当者会では、各小・中学校の取り組みを交流させることにより、指導計画や資料を共有することができ教育実践に生かすことができました。また、人権教育研修会では、「奇跡のピアニスト辻井伸行と彼を取り巻く人々」、「大丈夫？ ネットにハマる子ども達～人権の視点から～」をテーマに、障がい者の人権、ネット使用時における人権侵害の危険性について理解を深

めることができました。これらのことは、各小・中学校における人権教育の推進及び充実につながっています。今後も、担当者会及び研修会等を継続していく必要があります。

- 3. 1 1 東日本大震災を受け、葉山町教育委員会として策定した学校防災計画を基に各小中学校では、学校防災マニュアルの更なる見直しを行いました。津波を想定し校舎の屋上や高台への避難を取り入れた訓練を実施するなど、あらゆる災害に対応できるよう取り組んでおります。訓練等を通して課題を明らかにし、よりよい防災教育・避難訓練につなげていくことが重要です。
- インターネット等の普及が目覚ましい昨今、「実物」を目の当たりにし、学芸員から指導や研修を受けることのできる博物館は、町内でも数少ない視聴覚教育施設として、児童・生徒の学校教育課程のみならず成人の生涯学習の場としても更に活用を広げていくべきだと思われまます。また、地域博物館の特色である地元ならではの多くの資料を取り扱うことにより、郷土教育の一旦を担う基盤的存在としての機能も大いに期待されます。

町内既存の博物館などの諸施設が今後もより一層充実し、町民一人ひとりの「学びの場」として大いに活用されることが望まれます。

生涯学習については、毎回多くの受講希望者があり、人気の高い「葉山町民大学」を開催し、学びの場の充実を図りました。今後は、受講生のアンケート結果や要望を踏まえ、町民大学のテーマ設定など、今まで以上の充実を図る必要があります。また、しおさい公園・博物館は各種展示会を開催するほか、園内全ての管理も向上し、その効果が表れて活性化がうかがえ、さらなる入場者増が期待されます。
- 乳幼児の時期になると、おはなしや絵にたいへん興味をもつので、絵本の読み聞かせをすることで、読書の楽しさを知らせます。乳幼児と保護者に、絵本を楽しむ機会を案内するため、広報活動をさらに拡大し図書館の利用へつなげる必要があります。小・中学生に図書館の業務なども紹介し、積極的に読書活動を行う意欲を高めるため、また生涯学習の場としての機能を高めるため、「地域の図書館」としての役割を担っていく必要もあります。

(2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして

- 重点：●社会性を育てよう
- 学校間・校種間交流を促進しよう
 - 地域・世代間交流を促進しよう
 - 国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成 25 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 小・中学校の連携

進学に備え、小学校 6 年生が中学校を訪問し、学校生活や部活動の見学・体験を行いました。

教育研究所では町費教員の協力の下、小中連携に関する連絡会を 9 回開催し、今後のよりよい連携に向け、課題を整理し研究を進めました。また、平成 25 年度から、「かながわ学びづくり研究推進委託事業」の地域指定を受け、町内すべての小・中学校で、県・町教育委員会及び大学等との連携により校内研究を充実させるとともに、小・中学校の教職員が相互に研究授業を参観し、研究協議に参加しました。

② 「わかる！算数教室」の開催

葉山町教育研究所が主体となり、小学校 6 年生を対象に「わかる！算数教室」を 2 コース 5 日間開催し、延べ 93 人が出席しました。教材には、前年度の様子や、小中連携に関する連絡会での研究から、中学校でつまずきそうな範囲を想定し、例題・問題を作成しました。

③ 小学校外国語活動・中学校英語教育

平成 23 年度から完全実施された新学習指導要領において、小学校 5・6 年生では外国語活動が必修となり、町小学校外国語活動研究会では、中学校英語教員と協同で、平成 24 年度に同研究会で作成した共通教材を使った授業の研究を行いました。また、充実した活動や授業が行えるように、各小・中学校へ A L T を派遣すると共に、各小学校へはボランティアによる外国語活動サポーターを派遣しました。

* A L T (Assistant Language Teacher)

ネイティブスピーカーの外国語指導助手

④ 地域連携による学習の推進

地域との協同・連携を進め、葉山町の自然や環境・歴史・文化・社会活動

などに関わる体験学習を推進しました。

〈生涯学習課〉

⑤ ジュニアキャンプ

夏休み中に国立中央青少年の家(御殿場市)でジュニアキャンプを開催し、他の学校の同年代の仲間や異世代の青少年指導員やジュニアリーダーとのふれあいを通して、集団生活における協力やルールを守る大切さを学び、自主性・協調性を育みました。

(参加者：小学5・6年生 51人)

⑥ 各種青少年体験事業

各種青少年体験事業では、子どもたちに自然とふれあいながら、様々な体験活動をする機会を作りました。「葉山自然観察隊」では、芝崎ナチュラルリザーブにおいて磯の生き物に触れたり、「さわやか体験学習」では、青少年指導員の指導により、ランプシェード作りを行いました。

葉山自然観察隊 参加者：小学3・4年生 28人

さわやか体験学習 参加者：小学4～6年生 13人

海の学校(波乗り体験)

参加者：小学校1年生～高校3年生、保護者 65人

海の学校(ヨット体験) 参加者：小学5・6年生 14人

海山に育ち親しむ子どもたち(里山管理体験) ※雨天中止

海山に育ち親しむ子どもたち(稚魚放流・潮干狩り体験)

参加者：小学1～3年生 148人

⑦ 逗葉地区青少年音楽祭

葉山中学校、南郷中学校、逗子中学校、久木中学校、沼間中学校、逗葉高校、逗子高校、逗子開成中学校・高等学校及び聖和学院中学校・高等学校の吹奏楽部が、逗子文化プラザにおいて演奏会を実施し、音楽を通じて交流を深め、音楽活動の振興と青少年の健全育成を図りました。

⑧ 少年少女スポーツ体験講座

小・中学生を対象に、各種スポーツ体験講座を実施し、町内の児童・生徒の体力向上と、スポーツの振興を図りました。

陸上競技講座 参加者：小学3～6年生 95人

バスケットボール講座 参加者：小学1～6年生 35人

剣道講座 ※実施予定日(9月15日)当日大雨洪水警報発令により中止

⑨ ジュニアリーダー活動

青少年自ら進んで社会へ参加するための場所作りとして、ジュニアリーダー養成講座を開講し、リーダーとして必要な基礎知識・技術を習得し、子ども会等の地域活動にそれらを反映できるように指導・育成を行いました。

ジュニアリーダー養成講座 参加者：小学6年生 11人 全6回

<図書館>

⑩ 展示及び特集コーナーの資料紹介

毎月テーマを決めてエントランスコーナーでの展示や貸出室本棚で特集の資料紹介を実施しました。

テーマ：4月 こんな本あるよ、5月・6月 町所蔵美術展、7月 かいのどうぶつえん、8月 戦争を考える・夏休みのおすすめ本、9月 まつり、10月・11月 町所蔵美術展、12月 人権展、1月 富士山と世界遺産、2月 ユンカーマンさんの葉山、昨年よく読まれた本、3月 にしかわおさむ絵本原画展

葉山の中学校の図書委員がすすめる本を紹介しました。

【評価】

○ 現在の少子化、核家族化の中で、心豊かに共生できる人間を育成するためには、さまざまな集団生活、人とのふれあいを通じ、学校・家庭・地域社会の三者が一体となり、子どもたちに社会のルール、マナー、自制心や責任感などを身につけさせていかなければなりません。校種間交流として、小学校6年生が中学校を訪れ、中学校の生徒会から学校紹介や部活動紹介を受けることは、中学校入学への希望を抱くことができ、今後も継続が望まれます。また、町立保育園児が小学校の音楽の授業に参加し、ともに合奏することは、互いのよさを感じ取ることができ、小学校への期待を大きくすることのできる行事として評価できます。

○ 小・中学校の連携に向けての取り組みでは、小中学校9年間を見通した教育活動を推進するため、教育研究所が中心となり、小学校での児童の様子、中学校での学習面の不安等を把握し、教育課程の研究を進めてきました。

また、「かながわ学びづくり研究推進委託事業」では小学校2校、中学校1校を拠点校として指定し、公開授業や研究協議には、小・中学校の教員が参加し、学校間連携や小中連携による研究を進めることができました。また、各学校ではこの機会を使ってこれまでの校内研究を見直したり、さらに深めようとする意識が高まりました。

平成26年度は拠点校を入れ替えて事業を実施し、より研究や連携を進め

ます。

- 教育研究所が主体となり、小中連携推進の一環として、中学校進学を控えた小学校6年生を対象に、春休みに「わかる！算数教室」を開催しました。最終日には、中学校の教員が教室を訪れ学習の様子を参観し、小学校での学習に関して見識を深める機会となりました。参加者や保護者から「春休みを有意義に過ごせた」、「中学校の先生からも話を聞け、進学への希望が持てた」等の感想が寄せられ好評でした。今後に向け、課題を整理し、教材や授業方法に改善を加え、さらに充実した教室を開催していく必要があります。
- 南郷中学校では、「葉山のよい暮らしを発見する活動」として、FGC (Find「発見する」、Good Life「よい暮らし」、Community「地域」) 活動が定着するとともに、葉山中学校でも「ふれあい講座」を行い、葉山まちづくり協会やボランティアセンター等の協力を得るなど、地域との協同・連携を進め、葉山町の自然や環境・歴史・文化・社会活動などに関わる体験学習をすすめており、礼儀・マナーの習得も含め、学習の深まりが感じられます。
- 小学校外国語活動・中学校英語教育の充実に向けての取り組みでは、小学校外国語活動研究会が中学校英語教員と連携し授業研究を行いました。また、ALT派遣や小学校外国語活動サポーターの協力により、子どもたちが積極的にコミュニケーションを図ろうとするなど、授業が充実してきました。
また、生涯学習の青少年育成の場としてのジュニアキャンプやジュニアリーダー活動などを通じて、学校間・校種間交流の充実を図りました。今後も継続が望まれます。
- 毎月テーマを決めての資料紹介や、普段見ることのできない所蔵美術品なども展示し、読書活動の推進を図りました。各関係機関の協力を得て町民の研究や製作等の発表の場として活用しました。交流や参加の場となるような「地域の情報の拠点」として、こうした取り組みに努めることが望まれます。

(3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点：●身近な視点から環境を考える力をつけよう
●自然環境を汚さない行動力をつけよう
●地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 25 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 環境教育

学校給食の牛乳パックを再資源化するために、町内全小・中学校において、児童・生徒自身が解体・洗浄に取り組んでいます。

また、町環境課と連携し、生ごみ処理機「キエーロ」を各学校に設置し、活用しています。

〈生涯学習課〉

② 自然体験イベントの開催

「海山に育ち親しむ子どもたち～稚魚放流・潮干狩り体験」、「葉山自然観察隊」において、子どもたちが海の生物とふれあい、親しみながら自然の大切さを学びました。

(稚魚放流・潮干狩り体験 参加者：小学校 1～3 年生 148 人)

(葉山自然観察隊 参加者：小学 3・4 年生 28 人)

③ 文化財体験イベントの開催

町の天然記念物である芝崎ナチュラルリザーブ、長柄桜山古墳群で見学会を開催し、町の文化財についてふれあうきっかけ作りを行いました。また、文化財啓発として、葉山町文化財研究会の協力により「文化財講座」を実施しました。

文化財講座 参加者 26 人

古墳見学会 参加者 約 80 人

【評価】

○ 身近な給食の牛乳パック再資源化に児童・生徒が自ら参加することや、家庭科の調理実習等で出た生ごみを「キエーロ」で処理すること、一部学校で導入された給食用生ゴミ処理機により生成された肥料を花壇に活用することなどを通して、日常取り組んでいるごみの分別・減量などとともに、環境への意識が高まりました。また、給食から出る総生ごみ量の 7 割～8 割を生ごみ

処理機に投入することにより、搬出するごみの量が減りました。

- 各学校の環境に合わせて、地域の自然環境と人材を生かし、稲作体験や、水辺の環境調査、葉山メダカの飼育、漁業組合や民間の研究所の協力によるアマモなどについて学習する活動が定着してきました。校内にビオトープを設置している小学校では、水生生物の観察を通して自然環境について学習しています。また、野鳥の会と連携した野鳥教室を開催しました。今後も「葉山の自然研究会」などにおいて、よりよい教育活動を研究していく予定です。

青少年事業「葉山自然観察隊」では、町の文化財である芝崎の磯「ナチュラルリザーブ」に生息する生き物とのふれあいや観察を通して、自然の豊かさや生き物同士の密接な関わり（生態系）について学ばせ、生き物を愛する心や自然環境を大切にすることを育んでいます。今後は、「感謝の念を持てるモラルあふれた人間性の育成」に向け、さらに踏み込んだ取り組みを検討していく必要があります。

(4) 基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点：●家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ

●社会変化に対応する力を育てよう

●新たな教育にチャレンジしよう

【平成 25 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 情報教育

デジタルテレビや電子黒板といった I C T 機器を使った授業について、研究や研修、実践を行いました。また、児童・生徒に携帯電話の正しい活用法を習得させるため、児童生徒指導担当や携帯電話会社とも協力し、情報モラル教育に関する授業を行いました。

また、広域での効果的な情報教育を研究している、横須賀市、三浦市、葉山町からなる「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」に、平成 24 年度から逗子市も加わり、より広域での研究会や研修会を開催しました。

② 職場インタビュー・職場体験学習の実施

子どもたちが将来自立した社会人となるため、学校、家庭・地域社会において、勤労や職業に積極的に関わりながら「学ぶこと」や「働くこと」の意義について考えることができるように、中学校で職場インタビュー・職場体験学習を実施しました。

③ 小中学校作品展

各学校の教育活動を基にして、その成果発表の場として、小中学校作品展を開催しました。来場者 3,639 人。

【評価】

○ 現在の情報化社会では、I C T 機器の使用に関わり、その利便性とともな危険性についての教育が必要です。それらを踏まえ有効に活用することにより、時代に合った情報教育の可能性が広がる一方、常に新たな課題への対策が必要となりますが、近隣市町と連携を深めることで、情報教育の研究がより充実したものとなりました。

今後も連携の下、めまぐるしく変わる I C T 環境に合わせ、最新の情報を学校現場へ提供していくことが必要です。また、携帯電話、スマートフォン等情報端末を所有する小中学生の増加に伴い、その使用についての情報モラル教育の必要性が高くなっています。既に、学校では警察や企業貢献活動に

よる児童・生徒、保護者を対象とした研修会を実施していますが、購入時に児童・生徒、保護者がよりよい使用に関する約束をすることも大切であることから、学校と保護者が連携して対策を講じることが大切です。

- 職場インタビューや職場体験学習を実施することは、子どもたちが「学ぶこと」や「働くこと」の意義を理解するとともに「生きる力」を身に付け、主体的に自己の進路を選択・決定できる能力を高め、それぞれが将来直面するであろう様々な課題に柔軟に、かつ、たくましく対応し、社会人・職業人として自立した人になっていくための一助になっており、評価することができます。しかし、職場体験を受け入れる事業所の負担について、配慮する必要があります。
- 小・中学校作品展では、他校の作品を見ることで、児童・生徒がお互いのよさを認め合うとともに、創作意欲の向上や進級・進学への期待を持てる機会となっています。また、来場者は3,600人を超え、地域の方々からも教育活動を知る機会として好評であり、継続が望まれます。

5 学識経験者による意見

「教育委員会の点検・評価報告書」についての所見（平成 25 年度対象）

原田 啓子（葉山町青少年指導員）

1 教育委員会の活動内容について

(1) 教育委員会会議の開催状況

12 回の定例会及び 1 回の臨時会を開催しています。また随時研修会を実施とあります。

(2) 教育委員会会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務局委任等に関する規則」第 2 条の規定に基づき、21 件の議案について審議されています。

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員会会議以外に、教育委員の町議会、校長会・教頭会、学校視察、各種行事等への計 126 回の出席及び参加が報告されています。その中で、各種行事・大会への参加 56 回、学校視察、運動会等の学校訪問が 12 回行われていることから、委員各位の主体的かつ積極的な姿勢が伺われます。

2 教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況

(1) 基本理念 I 自立した人間をめざして

重点：●家庭教育を充実しよう	●特別支援教育を大切にしよう
●幼児教育を充実しよう	●健康生活を推進しよう
●学校教育を充実しよう	●学びの場を充実しよう

【平成 25 年度の重点取組】

＜教育総務課＞

① 耐震整備事業

一色小学校新館の工事が実施されました。上山口小学校旧校舎については、早急に方向を決めていただきたいと思います。

<学校教育課>

② 町費教員の配置

児童・生徒それぞれの学習の目的や習熟度に合わせて指導体制が図られています。中1ギャップの対策も考慮され、継続した充実化が望まれます。小学校4校、中学校2校という点を生かして、連携した授業を進めていただきたいと思います。

③ 教育相談体制

各小中学校にスクールカウンセラー（件数 467）、心の教室相談員（件数 1,027）、教育研究所の相談員（件数 1,087）を配置し、体制作りがなされています。配置人数が不明ですが、中学校のみの心の教室相談件数が1,027件というのは、他と比較しても多いように思います。それぞれの相談内容や形態も異なるので数字だけで判断できないでしょうが、相談したいのに相談員が不足しているということがないよう、また、相談員の負担が過多にならないような体制を望みます。

④ 特別支援教育

一人ひとりのニーズに応じた指導・支援に向けて努めており評価できます。葉山町発達支援システムによる福祉と教育の連携のもと、今後もよりきめ細かく、適切な支援となるよう期待します。

⑤ 人権教育

人権教育は、障がいとは何か、また、いじめ、性差別について考えるための基礎になるものです。担当者研究会を持ち各校が共通理解のもと人権教育に取り組んでおり評価します。ライン等のようにその便利さ手軽さが諸刃の剣となりがちな昨今の状況において、今後も一人ひとりを大切にする教育を推進して下さるようお願いいたします。

⑥ 防災教育

葉山町学校防災計画を改定し、各学校で学校防災マニュアルを見直すとともに、さまざまな訓練が実施されています。葉山小学校、一色小学校では津波を想定した高台への避難訓練が行われています。避難用の山道整備も含め、万全の備えをしてください。

<生涯学習課・しおさい博物館>

⑦ 「葉山町民大学」の開催(全5回)

関東学院大学の協力をいただき、生涯学習の場として地域に定着してい

ます。テーマ、内容ともに興味深いものです。今後も対象者の求めに応えた企画をお願いしたいものです。

⑧ しおさい公園・博物館の充実

明確な目標を設け、開かれた親しまれる施設として、来園及び来館者に喜ばれています。ホームページ・フェイスブックを使った広報も効果的です。こういった取り組みを継続していただきたいです。

⑨ しおさい博物館展示解説及び学習支援

⑩ しおさい博物館学芸員実習

しおさい博物館は、葉山ならではの施設であり、有効活用を期待しています。児童・生徒への展示解説・自由研究相談等の継続を望みます。

⑪ 神奈川県立近代美術館葉山・山口蓬春記念館との合同見学会

合同見学会の利点を生かせるよう継続していただければいいと思います。

<図書館>

⑫ ブックスタート

保健センターとの協力で育児支援としても効果的な企画が行われています。

⑬ おはなし会

定着した活動です。曜日の変更など必要であれば柔軟な対応もお願いしたいです。

⑭ 社会見学・職場体験学習

必要な学習の機会ですので今後も実習の場を提供してください。

⑮ 絵本のパンフレット作成

新しい取り組みです。紙媒体が減少しつつある昨今ですが、絵本のよさを知るきっかけ作りです。

(2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして

重点：●社会性を育てよう

●学校間・校種間交流を促進しよう

●地域・世代間交流を促進しよう

●国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成 25 年度の重点取組】

＜学校教育課＞

① 小・中学校の連携

小学校 6 年生の中学校訪問が「中一ギャップ」の解消に役立っています。また、教育研究所が町費教員の協力の下、連絡会を開催し、連携への課題整理、研究を行っています。校内研究の充実は望ましいことですし、小・中学校の教職員の相互参観・研究協議への参加も評価できます。

② わかる！算数教室」の開催

教育研究所と町費教員が協力し、春休みに小学校 6 年生を対象の「わかる！算数教室」では、中学校の教員の訪問参観もありました。連携推進の一環として、具体的な取り組みと評価できます。参加者や保護者からも好評を得ており、今後の発展が期待されます。

③ 小学校外国語活動・中学校英語教育

小学校 5・6 年生での外国語活動必修化を受け、町小中学校外国語活動研究会で作成した共通教材を使って、授業研究を進めています。ALT 派遣や小学校外国語活動サポーターの協力を得ており、コミュニケーション力、表現力を高められるような充実した授業・活動を望みます。

④ 地域連携による学習の推進

地域の力を取り込んだ活動は学校への理解を深め、児童・生徒を見守っていただくことにもつながりますので、これからも推進を望みます。

＜生涯学習課＞

⑤ ジュニアキャンプ

子どもたちの自主性、協調性を育てるいい機会となっています。

⑥ 各種青少年体験事業

学校外でのさまざまな体験学習の場が工夫されています。

⑦ 逗葉地区青少年音楽祭

逗葉地域の公・私立校が多数参加して音楽を通じた交流を深めています。

⑧ 少年少女スポーツ体験講座

陸上競技、バスケットボールの体験講座が行われました。剣道講座は残

念ながら天候事情で中止とのことですが、体力向上、健全育成の一環として様々なスポーツを体験できるよう継続してください。

⑨ ジュニアリーダー活動

養成講座終了後、ジュニアキャンプや子ども会・町内会等の各事業で活躍しています。青少年育成のための大切な活動です。

〈図書館〉

⑩ 展示及び特集コーナーの資料紹介

エントランスコーナーでの展示や貸出室本棚での特集の資料紹介など「地域の情報の拠点」を意識しての取り組みがなされています。葉山の中学校の図書委員が進める本を紹介するというのも楽しい企画です。

(3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点：●身近な視点から環境を考える力をつけよう ●自然環境を汚さない行動力をつけよう ●地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 25 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 環境教育

各学校の事情に合わせた実践的で多様な環境教育が漁業協同組合等諸団体や地域の方々の協力を得て行われ、成果を見せています。また、児童・生徒自身による牛乳パックの解体・洗浄、「キエーロ」の設置など学校において具体的な取り組みがなされており、環境への意識を高めると同時に、搬出するごみの減量化が実現していることも評価できます。

〈生涯学習課〉

② 自然体験イベントの開催

海の生物とふれあい、親しみながら自然の大切さを学べる企画に多くの参加がありました。

③ 文化財体験イベントの開催

芝崎ナチュラルリザーブ、長柄古墳群等に関して、幅広い対象への行事を企画開催し、多くの参加を得ています。

(4) 基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点：●家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ
●社会変化に対応する力を育てよう
●新たな教育にチャレンジしよう

【平成 25 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 情報教育

児童・生徒に対する情報モラル教育の授業は不可欠ですので、外部機関と協力しつつ継続してください。また、「三浦半島地区教育ネットワーク協議会」での研究会や研修会も実施されています。

デジタルテレビや電子黒板といった I C T 機器を有効に活用し、教育効果をさらに高めてください。

② 職場インタビュー・職場体験学習の実施

受け入れてくださる側に感謝しつつ、自立した社会人として成長するためのきっかけ作りを継続するよう望みます。

③ 小中学校作品展

来場者 3,639 人ということから、作品発表の場であるとともに、他校の児童・生徒との交流、家族の交流、地域の交流の場として価値があることがわかります。

3 所感

学習指導要領では、確かな学力、豊かな心、健やかな体が均衡した「生きる力」を育てることが大切だとされています。基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力・判断力・表現力等の育成の両方が必要であり、さらに自分で考え判断し、主体的に学習に取り組む力が目指されています。この報告に、それらを踏まえた取り組みが数々実施されており、今後の葉山町の学校教育においての内容の充実と向上が期待されます。小中学校の存在が地域に根差した葉山町では、施設分離型の小中学校連携が望ましいと考えます。報告されているような研究が速やかに推進され、具体化するよう期待しています。

学校施設のみならず全ての施設について、耐震はもちろんのこと日々使用する際の安全性は不可欠です。財政上の制限はあるにせよ、後顧の憂いがなきよう、対策すべきことは公の場で議論していただきたいと思います。また、施設を利用する際の利便性も考慮しなければならないでしょう。大規模な施設改修がある場合は、従来の利用方法にこだわらず、自由な発想で進めることも必要

ではないでしょうか。

あらゆる年代を対象とした生涯学習充実のための企画を始め、しおさい公園・しおさい博物館、図書館での工夫を凝らした取り組みが報告されました。ただし、講座・イベントについて単独の採算を含め事業効果を検証し、改廃などもあっていいと思います。

豊かな自然に恵まれ、地域のご協力をふんだんに頂ける葉山ならではの利点を生かした活動が報告されていました。校種間、他地域校、地域の方々などの異年齢との交流は児童・生徒の視野を広めることにつながりますので、機会が増えればよいと思います。

納税者から見ても、教育は期待が大きく評価につながりやすい部分です。葉山町教育委員会においては、今後も不易と流行のバランスを保ちつつ、「開かれた」教育委員会であるよう望みます。

1 教育委員会の活動内容について

(1) 教育委員会会議の開催状況

教育委員会会議は、平成 25 年度は月 1 回、計 12 回の教育委員会定例会と、1 回の教育委員会臨時会、及び随時の研修会開催が報告されている。

(2) 教育委員会会議での審議状況

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第 26 条及び「葉山町教育委員会教育長に対する事務委任等に関する規則」第 2 条の規定に基づき、平成 25 年度は合計 21 件の議案について適切かつ慎重審議が行われている。また、定例会の各回において教育長の報告事項がなされており、葉山町の教育行政に係る具体的な成果や課題について共通理解を深める会議となっている。

(3) 教育委員会会議以外の活動状況

教育委員の教育委員会会議への出席以外の活動として、町議会関係、校長会・教頭会、学校視察・運動会、各種行事等について、126 回の出席及び参加が報告されている。本報告書の冒頭にあるように、この町に住む一人ひとりが人間的に豊かで幸福に生きていくためには行政の「学習・教育環境の充実」が必要不可欠である。そこで、学校・地域等の教育活動の実際を把握する教育委員会会議以外の本活動は、喫緊・短期・中期・長期的課題解決に向けた教育施策を着実に実施していく上でも、極めて重要である。教育委員のご尽力に敬意を表します。

2 教育総合プラン 学びの基本理念に基づく取組状況

(1) 基本理念 I 自立した人間をめざして

重点：●家庭教育を充実しよう	●特別支援教育を大切にしよう
●幼児教育を充実しよう	●健康生活を推進しよう
●学校教育を充実しよう	●学びの場を充実しよう

【平成 25 年度の重点取組】

〈教育総務課〉

① 耐震整備事業について

児童・生徒や町民の安全・安心の観点から、平成 25 年度の耐震整備事業と

して、一色小学校新館の耐震補強工事が実施され、上山口小学校第一校舎以外の耐震補強工事が終了したことは評価できます。今後は、上山口小学校第一校舎の活用についての検討が急務となる。また、学校の老朽化に伴う補修等、計画的な施設整備を望みます。

〈学校教育課〉

② 町費教員の配置について

児童・生徒の学習意欲をより高めるためには、習熟度や発達段階に即した教育指導が必要であり、町費教員の派遣はチームティーチング等、各学校の実情に応じたきめ細やかな教育指導の一助となっており、着実に成果を上げていることは高く評価できる。また、算数－数学科の連続した教育指導を通して中1ギャップの未然防止や解消に向けた小・中連携の在り方については、小・中連携のための町費教員（2人）と教育研究所により検証が進められており、今後の成果に期待したい。

③ 教育相談体制について

平成25年度の教育相談件数は、スクールカウンセラーが467件、心の教室相談員（中学校のみ）が1,027件、教育研究所の教育相談員が1,087件と報告されている。相談者の主訴が多様であること、福祉や医療機関との連携が必要となる相談が増加していること、改善まで長期的に対処する必要がある事例が多いこと、訪問相談の必要性が高まってきていること等から、増員も含めた教育相談体制の一層の充実が望まれる。また児童・生徒の心の問題を早期に解決するため、教職員研修やケース会議の充実も必要である。

④ 特別支援教育について

『基本理念Ⅰ 教育の重点4』の具現化として、すべての小・中学校において行われている、児童・生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育指導を可能にする充実した介助員制度や校内の支援体制の整備は高く評価できる。更に、通常級に在籍する発達課題を有する児童・生徒への支援についても、学校のニーズに基づく支援体制の充実を期待している。また、適正な障がい児就学プロセスの保持、教職員の研修等については、教育相談体制の充実や校内通級制度の確立とも相まって、今後も継続すべきと考える。

⑤ 人権教育について

人権教育は、学習者の人権尊重のための知識、技術および態度を養い、豊かな人権感覚に基づく実践力の育成を目的とする。このことから、平和で豊かな社会を築くためには欠くことのできない素地教育であり、あらゆる教育の

場においてなされるべきものである。この点から、町内全小・中学校において人権教育が計画的かつ組織的に取り組まれていることとともに、人権教育担当者会において教育実践の向上に向けた協議がなされていることや具体的なテーマに即した教職員研修を継続して実施していることは高く評価したい。

⑥ 防災教育について

葉山町学校防災計画を改定し、これを基に各学校が学校防災マニュアルのさらなる見直しが行われたことは、児童・生徒の安全とともに地域の安全・安心の観点から評価できる。今後は、避難所運営を通して、学校・家庭・地域の連携が一層深められることを期待している。

<生涯学習課・しおさい博物館>

⑦ 「葉山町民大学」の開催について

関東学院大学と提携し、年5回開催されたことは、町民の学びの場・学習機会の充実の点から高く評価できる。今後も、町内の研究機関との連携も視野に入れながら、充実していくことを期待しています。

⑧ しおさい公園・博物館の充実

⑨ しおさい博物館展示解説及び学習支援

⑩ しおさい博物館学芸員実習

⑧～⑩について

来園・来館者についての数値目標を設定し、達成に向けて努力されたことに敬意を表します。更に、博物館機能及び企画展示の充実やその周知を図る上でも学芸員の複数配置が望まれる。また、児童・生徒への展示解説や学習支援を実施していくことは、『基本理念Ⅲ』の具現化に向けた意義ある博物館の活動であり、高く評価するとともに、継続して頂きたい。

⑪ 神奈川県立近代美術館葉山・山口蓬春記念館との合同見学会について

『文化のまち 葉山』ならではの三館合同事業は継続を期待したい。

<図書館>

⑫ ブックスタート

⑬ おはなし会

⑭ 社会見学・職場体験学習

⑮ 絵本のパンフレット作成

⑫⑬⑮について

子ども育成課と連携した「ブックスタート」は、乳児と保護者に親子のふれ

あいを深めつつ、本と親しむ環境づくりへの有意義な取り組みとなっている。更に、「おはなし会」を行うことで幼児期における家庭教育の有り様を伝えるとともに、深化を図るために「絵本のパンフレット作成」という支援を行ったことは高く評価できる。昨今、子どもたちの内包言語量の減少が社会的課題となっており、その解決策としても大いに期待できる。また、この活動を更に充実するため、夏季休業期間中の小学校学校図書館の活用について検討していただきたい。

⑭について

児童・生徒が、生涯学習の大切な場であることについての理解を深める上で意義ある活動であり、継続してもらいたい。

(2) 基本理念Ⅱ 心豊かに共生できる人間をめざして

重点：●社会性を育てよう

●学校間・校種間交流を促進しよう

●地域・世代間交流を促進しよう

●国際的な視野にたつ人間を育てよう

【平成 25 年度の重点取組】

〈学校教育課〉

① 小・中学校の連携について

小学校 6 年生の中学校訪問について、中学生が小学校において説明会を行っていることは大変好ましい。

算数－数学科という教科を限定して、小・中連続したカリキュラム開発を教育研究所が中心となって具体的な研究を進めていることは評価できる。そこで整理された課題を施策に反映されるよう期待する。また、小・中学校の教員が共同で、「かながわ学びづくり研究推進委託事業」として県・町教育委員会及び大学等との連携により実践研究を充実させていることは高く評価できる。

② 「わかる！算数教室」の開催について

葉山町教育研究所が主体となり、小学校 6 年生を対象に「わかる！算数教室」が 2 コース 5 日間開催された。中学校数学科教員からの話もあり、延べ 93 人の参加者や保護者から「進学への希望が持てた」とする感想が寄せられたことは高く評価したい。更に充実させるためには、開催時期や対象者の増加を見込んだ指導者や財源の確保が必要となる。

③ 小学校外国語活動・中学校英語教育

平成 23 年度から完全実施された新学習指導要領において、小学校 5、6 年生では外国語活動が必修となり、また、今後の早い時期に小学校 4 年生以下についても指導の拡充が予定されている。『基本理念Ⅱ 教育の重点 4』の「国際的な視野にたつ人間を育てよう」を基に、これまで行われてきた葉山町の英語教育を更に充実していく上でも、小・中学校教員が協同で共通教材を使った授業研究が行われたことは意義深い。また、充実した活動や授業が行えるように、ALT や外国語活動サポーターの拡充が望まれる。

④ 地域連携による学習の推進

町内小・中学校において、地域との協同・連携を進め、葉山町の自然や環境・歴史・文化・社会活動など、地域特性を生かした各校の特色ある体験学習活動が積極的に行われていることは高く評価したい。

〈生涯学習課〉

- ⑤ ジュニアキャンプ
- ⑥ 各種青少年体験事業
- ⑦ 逗葉地区青少年音楽祭
- ⑧ 少年少女スポーツ体験講座
- ⑨ ジュニアリーダー活動

⑤ ～⑨について

これらは『基本理念Ⅱ 教育の重点 1・2・3』を網羅した活動となっており、青少年指導員・ヨット関係者・体育指導関係者・音楽指導関係者等々、活動を支援してくださる方々に感謝するとともに敬意を表します。地域・学校種・学年・世代を超えての交流の場として貴重であり、一層の充実を期待します。その為にも、民間活動団体やNPOへの委託等について検討する必要があると思われます。

〈図書館〉

⑩ 展示及び特集コーナーの資料紹介について

毎月テーマを決めて行われたエントランスコーナーでの展示や、貸出室本棚で特集の資料紹介は大変工夫されており、高く評価したい。また、葉山の中学校図書委員がすすめる本を紹介したことは、図書館を身近なものにする上でも素晴らしい企画である。

- (3) 基本理念Ⅲ 自然のあらゆることに思いを馳せ、感謝の念を持って行動できる人間をめざして

重点：●身近な視点から環境を考える力をつけよう

- 自然環境を汚さない行動力をつけよう
- 地球・生命を愛する心を伝えよう

【平成 25 年度の重点取組】

＜学校教育課＞

① 環境教育について

学校給食の牛乳パックを再資源化するために児童・生徒自身が解体・洗浄を行っていること、町環境課と連携し生ごみ処理機「キューロ」を各学校に設置し活用していることは、日常生活での「身近な地域で行動する力」を育成している。

＜生涯学習課＞

② 自然体験イベントの開催

③ 文化財体験イベントの開催

②③について

「海山に育ち親しむ子どもたち～稚魚放流・潮干狩り体験」、「葉山自然観察隊」「芝崎ナチュラルリザーブ、長柄桜山古墳群での見学会」、葉山町文化財研究会の協力による「文化財講座」では、各回とも多数の参加者があり、年齢層や興味・関心に即応した事業構成の成果として高く評価したい。

(4) 基本理念Ⅳ 人類の進歩と発展に貢献できる人間をめざして

重点：●家庭から地域（葉山）へ、そして世界へ

- 社会変化に対応する力を育てよう
- 新たな教育にチャレンジしよう

【平成 25 年度の重点取組】

＜学校教育課＞

① 情報教育について

児童・生徒の情報リテラシー能力を育成するために、小・中学校の指導内容に適した I C T 機器等の更新が行われたことは評価したい。また、文部科学省では現在、「学びのイノベーション事業」による情報端末やデジタル教科書・教材を使った授業についての研究が進められており、国の動向を把握する必要がある。また、SNS の急激な普及に応じて、人権教育としての情報モラル習得を児童・生徒及び保護者に行う必要性が高まっている。これまで以上に外部機関と協力し、情報モラル教育に関する授業が行われることを期待するとともに、保護者・地域への教育が課題である。

また、葉山町・横須賀市・三浦市・逗子市からなる「三浦半島地区教育ネッ

トワーク協議会」等の教育研究・研修は、広域での協力体制を確立するうえで重要なことであり継続すべきと考える。

② 職場インタビュー・職場体験学習の実施について

『基本理念Ⅰ』とも関連した中学生の職場インタビュー・職場体験学習は、生徒の社会認識を深める絶好の機会となっている。受け入れてくださる方々やコーディネートする教員の尽力に感謝したい。また、このような体験を通して、子どもたちが保護者との関係を見直すきっかけにも成り得ることから、是非、継続していただきたい。

③ 小中学校作品展について

児童・生徒一人ひとりの自己肯定感を高め、お互いを認めあう心情の育成を図る上でも、町内小中学校が一堂に会しての発表の場があることは意義深い。来場者 3,639 人ということからも、家族・地域の暖かな交流の場となっており、継続すべきと考える。

3 『報告書』を読んだの所感

“海とみどりにひろがる交流 文化のまち 葉山”に住む一人ひとりが幸福に生きていくことを目指す、葉山ならではの生涯学習社会の実現に向けて平成 17 年 3 月に策定された「葉山町教育総合プラン」に基づき、多岐にわたる事業が着実に実施されておりますことに策定に携わった一員として深く感謝申し上げます。また、基本理念をもとにした中・長期的な取り組みとあわせて、喫緊の教育課題への教育委員会の迅速な対応に敬意を表します。

さて、学習者に主体を置く教育活動は、多種多様な学習ニーズを伴います。そこで教育委員会は、これまで同様に学校・地域等の教育活動の実態を把握し、学習者を支援する立場から、教育環境整備をきめ細やかに行うことに主眼を置き、教育活動の実質的な運営は民間の活動団体やNPO等に委託・委譲することも検討すべき時期にあると思われまます。

また、子どもたちの情緒の安定は学習意欲を向上させ、豊かな人格形成へとつながります。従って、子どもたちの心に生じた悩みは、早期に解決することが重要です。学校においては教職員が、家庭においては保護者が、いち早く予兆を察知し、関係者が協力して解決の手助けを行う必要があります。その為にも、教職員には「子どもたち一人ひとりと向きあえる時間の確保や教育相談に関する研修の充実」が、また、児童・生徒・保護者には「いつでも相談できる教育相談体制の確立」が、これまで以上に求められます。今後の教育施策に反映していただければ幸いです。

「葉山町教育総合プラン」の理念を生かし、厳しい財政状況下ですが、葉山だからできる豊かな学びにむかって、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。

葉山町教育委員会委員（平成 26 年 3 月 31 日現在）

職 名	氏 名
委 員 長	鈴 木 伸 久
委員長職務代理者	山 崎 勝 美
委 員	遠 藤 麻 衣 子
委 員	小 峰 み ち 子

平成 26 年度教育委員会点検・評価報告書（平成 25 年度対象）

発行者 葉山町教育委員会教育部教育総務課

〒240-0112

神奈川県三浦郡葉山町堀内 2, 050 番地の 9

電 話 046 (877) 5100 (直通)

F A X 046 (876) 1861

Eメール : kyoikusoumu@.town.hayama.lg.jp